

タイフム ブイアイ® 注シリンジ接種情報

Name of vaccine: TYPHIM Vi Syringe for Injection

接種日: 年 月 日
Vaccination date: YYYY / MM / DDロット番号:
Lot number:

接種に関する相談先

腸チフスの症状、ワクチンの使用方法、副反応などについて質問がある場合は、
医師または看護師におたずねください。
下記コールセンターでも相談を受け付けています。

① ワクチン接種医療機関 (医療機関名・住所・電話番号)

② サノフィ株式会社 お問い合わせ窓口

サノフィワクチンコールセンター (製品・接種等に関する相談)

フリーダイヤル **0120-870-891**

受付時間 9:00～17:00 (日本国内のみ、土日祝日・弊社休業日を除く)

【お願い】

接種後に気になる症状を認めた場合は、既に軽快している場合や医療機関を受診した後であっても、
上記サノフィワクチンコールセンターまでご報告ください。皆様からの報告は、より安心してワクチン
を使用するための情報として有効に利用されます。

タイフム ブイアイ® 注シリンジを
接種される方とご家族へ

タイフム ブイアイ® 注シリンジ

発売
準備中

本冊子には、接種後に異常を感じた場合
の対処方法が記載されています。

体調の異常を感じた場合は、医療機関を
受診するなど、適切に対応してください。

渡航に際して接種される場合は、渡航先
にも本冊子を持参してください。

腸チフスワクチンで予防できる感染症

チフス菌と腸チフスとは？^{1) 2)}

腸チフスは、サルモネラ属に分類されるチフス菌によって引き起こされる全身性の感染症です。一般に食中毒等でみられるサルモネラ感染症とは区別されます。

チフス菌は、ヒトにのみ感染します。患者や健康保菌者の便や尿で汚染された食べ物や水を摂取することで感染します。

症状²⁾

潜伏期間は、通常10～14日ですが、摂取した菌量が多ければ潜伏期間は短縮します。

主な症状は発熱で、高熱が持続します。下痢がみられることもあります。

典型例では、バラ疹（胸腹部に現れる淡紅色の発疹）、肝臓や脾臓の腫大、意識障害や徐脈（脈拍が遅い）などの症状がみられます。また、いったん解熱しても、約20%に再発を認めます。腸出血、腸穿孔をきたすこともあります。

予防と治療²⁾

上下水道設備の不十分な地域に滞在する場合は、加熱不十分と思われる食品は避け、飲食する際には食べ物が適切に調理され、提供されるときにまだ温かい状態であることを確認してください。また、飲料水も煮沸してください。飲食店や屋台などでの飲食も控えてください。また、胃切除後や制酸剤内服中は感染しやすくなるので、とくに注意しましょう。

抗菌薬の投与による治療が行われますが、とくにアジアでは薬剤耐性菌（薬の効かない菌）も報告されています。

腸チフスを疑った時は、速やかに医療機関を受診してください。

WHOが推奨している予防法³⁾

- ・ 殺菌をしていない乳等から作られた製品は避けてください。
- ・ 安全な水から作られていない限り、氷は避けてください。
- ・ 飲料水の安全性に疑問がある場合は沸騰させるか、それが難しい場合は薬局で販売されている飲料水用の消毒剤などで消毒してください。
- ・ ペットや家畜と接触した後、またはトイレに行った後は、石鹸を使用して手を洗いましょう。
- ・ 果物や野菜を、特に生で食べる場合は、丁寧に洗いましょう。可能であれば、野菜や果物は皮を剥いてから食べましょう。

流行地（リスク地域）⁴⁾

日本を除く東アジア、東南アジア、インド亜大陸、中東、東欧、中南米、アフリカなどに広く分布しており、とくに途上国に多くみられます。

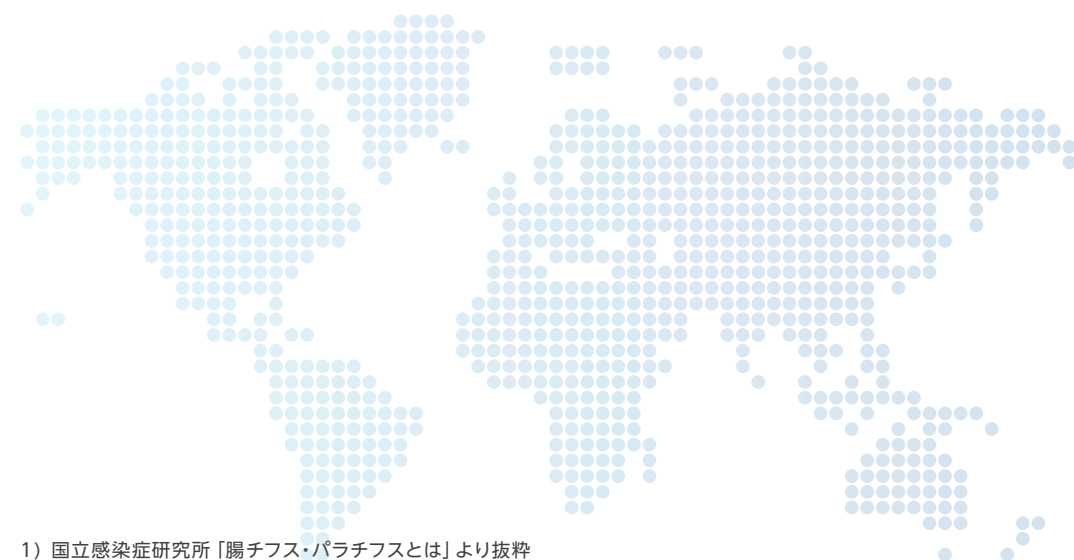
日本では近年、腸チフスは年間20～60例で推移しており、70～90%程度が海外で感染し帰国後に発症した輸入感染例です。

タイフィム ブイアイ[®] 注シリンジは、 腸チフスを予防するためのワクチンです。

タイフィム ブイアイ[®] 注シリンジの接種が推奨される人

流行地域（インドをはじめとする南アジアや東南アジア）への渡航者・滞在者

特に、インド・パキスタン・バングラデシュのような高度流行地域においては、たとえ1週間以内の滞在であっても罹患した渡航者が存在するという報告があります。



1) 国立感染症研究所「腸チフス・パラチフスとは」より抜粋
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/440-typhi-intro.html>

2) 厚生労働省検疫所 FORTH「腸チフス・パラチフス」より抜粋
https://www.forth.go.jp/keneki/kanku/disease/dis04_05typ.html

3) WHO (World Health Organization Typhoid) より抜粋
<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/typhoid>

4) 日本渡航医学会「海外渡航者のためのワクチンガイドライン / ガイダンス 2019」より抜粋

タイフィム ブイアイ[®] 注シリンジ 接種前の注意

■ 次の人は、このワクチンの接種を受けることはできません。

- ・ 明らかに発熱（通常37.5℃以上）している人
- ・ 重篤な急性疾患にかかっている人
- ・ 過去にこのワクチンに含まれている成分で全身性の過敏症あるいは重度の過敏症を起こしたことがある人
- ・ 上記以外に医師が予防接種を行うことが不適当な状態にあると判断した人

■ 次の人は、医師が健康状態や体質に基づいて、接種の適否を判断します。

- ・ 心臓や血管、腎臓、肝臓、血液の障害や発育の障害などの基礎疾患がある人
- ・ 他のワクチンの接種を受けて、2日以内に発熱があった人や全身性の発疹などアレルギーが疑われる症状が出たことがある人
- ・ 過去にけいれんを起こしたことがある人
- ・ 過去に免疫に異常があると診断されたことがある人や両親や兄弟に先天性免疫不全症の人がいる人
- ・ 免疫抑制療法を受けている人など、免疫能が低下している人
- ・ このワクチンの成分に対してアレルギーを起こすおそれがある人
- ・ 血小板減少症あるいは出血障害がある人
- ・ 腎臓に障害がある人
- ・ 肝臓に障害がある人
- ・ 妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・ 授乳中の人
- ・ 2歳未満の小児
- ・ 高齢の人

■ 予診票はよく読み、正確に記載してください。

■ 接種前には、接種後の注意事項や副反応を疑う症状を認めた場合の対応について十分に説明を受けてください。

■ 健康上の心配のある方、当日体調のすぐれない方は、接種前に必ず医師に申し出てください。

タイフィム ブイアイ[®] 注シリンジ 接種後の注意

接種直後または接種後に以下に示す血管迷走神経反射*として失神、あるいはアナフィラキシーがおこることがあるので、接種後30分は特に注意してください。

■ 接種直後または接種後に、血管迷走神経反射として失神があらわれることがあります。失神による転倒を避けるために、次のことを守りましょう。

- ・ 接種後30分程度は、体調に変化がないか様子を見るため、接種施設内で背もたれや肘かけのあるイスなど体重の預けられるような場所に座するなどして待ちましょう。
- ・ 接種後に診察室から待合室などへ移動する時に、頭痛や吐き気、冷や汗、めまい、視界不良などがある場合には看護師や保護者の方に腕をもって付き添ってもらいましょう。
- ・ 待っている間はなるべく立ち上がることを避け、座しましょう。

* 血管迷走神経反射：注射を打った時の痛み、恐怖、興奮などによる刺激が脳神経のひとつである迷走神経を介して中枢に伝わり、心拍数が減ったり、血圧がさがったりすることです。そのため、気分が悪くなったり、めまいやふらつき、失神などがおこったりします。

■ 接種後に、アナフィラキシー（皮膚のかゆみ、蕁麻疹、息苦しさ、動悸、意識の低下など）がおこることがあります。アナフィラキシーは通常接種後30分以内におこることが多いので、この間、接種施設内で待機するか、すぐに医師と連絡をとるようにしておきましょう。

■ 接種後は、健康状態によく気をつけましょう。接種部位の異常な反応や体調の変化、高熱、けいれんなどの異常を感じた場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

■ 接種当日は激しい運動を避け、接種部位を清潔に保ちましょう。

■ 他の医師を受診したり、他のワクチンを接種したりする場合は、必ずこのワクチンを接種したことを医師、薬剤師または看護師に伝えてください。



タイフィム ブイアイ® 注シリンジの効果の持続について

- ・南アフリカで小児及び思春期末成年（5 歳以上 15 歳以下）の被験者を対象に実施したランダム化二重盲検比較対照有効性試験においてワクチン接種後 3 年間評価を行い、3 年間を通した全観察期間の Vi ワクチンの有効率は 77% であった。
- ・コートジボワール駐留のフランス軍人で発生した腸チフスの疫学調査により、Vi 抗原に対する予防効果が 3 年以上持続しないというデータが示された。
- ・最新の WHO ポジションペーパーでは、Vi ワクチンの場合、初回接種後 3 年に追加接種を行うことが推奨されている。

出現する可能性のある主な副反応

タイフィム ブイアイ® 注シリンジの接種後には、他のワクチン接種と同様の副反応がみられますが、通常は一時的なもので数日で消失します。最も多くみられるのは接種部位の痛み、筋肉痛、倦怠感、頭痛などです。接種直後に注意が必要な副反応として、ショック、アナフィラキシー*、血管迷走神経反射*として失神があらわれることがあります。

* 主な自覚症状については下記をご参照ください。

ワクチン接種後に以下の症状がみられたら、医療機関を受診しましょう。

ショック、
アナフィラキシー

冷や汗、めまい、血の気が引く、からだがだるい、ふらつき、意識がうすれる、意識の低下、考えがまとまらない、ほてり、眼と口唇のまわりの腫れ、しゃがれ声、息苦しい、息切れ、動悸、蕁麻疹、判断力の低下

血管迷走神経反射 | 気分が悪い、めまい、ふらつき、失神

接種後に気になる症状を認めた場合の対応

タイフィム ブイアイ® 注シリンジの副反応と
思われる症状がみられたら



渡航先にいる場合

- 1 症状が重い場合または主な副反応の自覚症状（左ページ参照）等を認めた場合は、速やかに現地の医療機関を受診してください。
- 2 帰国後、接種を受けた医療機関またはかかりつけ医に報告し、必要に応じ診察を受けてください。

日本にいる場合

接種を受けた医療機関またはかかりつけ医に相談してください。症状が重い場合または主な副反応の自覚症状（左ページ参照）等を認めた場合は、速やかに受診してください。

◆ 判断に迷う場合は、医療機関または裏表紙に記載のサノフィワクチンコールセンターにご相談ください。

◆ 各国の医療機関に関する情報は以下のウェブサイトに記載されています。
外務省 在外公館医務官情報 : <https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/>

【お願い】

症状が既に軽快している場合や医療機関を受診した後であっても、裏表紙に記載のサノフィワクチンコールセンターまでご報告ください。

皆様からの報告は、より安心してワクチンを使用するための情報として有効に利用されます。